



令和6年3月

米沢市文化財年報 No.36

米沢市教育委員会



▲小嶋総本店全景（東から撮影）

※ドローン写真は米沢工業高校提供

令和5年11月24日に開催された国の文化審議会（会長 佐藤^{まこと}信）において、登録有形文化財として「小嶋^{こじま}総本店店舗兼主屋^{てんぼけんおもや}」ほか11件を登録するよう答申がありました。今後の官報告示を経て、本市の国登録有形文化財（建造物）は32件となる見込みです。

小嶋総本店は、安土桃山時代から現在地で酒造業を始めたと伝わります。主要な建物の店舗兼主屋は、大正8年(1919)に発生した米沢大火で焼失した直後に、福島県郡山市にあった民家を移築したと伝わり、間口長大な近代和風建築の建物です。土蔵は大火以前に建築されたものも現存しており、通りに面した一号蔵・二号蔵は白漆喰^{しっくい}塗の外壁下部に赤瓦の海鼠^{なまこ}壁^{かべ}が特徴です。

これらの建造物群が一体となり、旧米沢城下の歴史的な景観を現在に伝える文化財として高く評価されました。



▲小嶋総本店店舗兼主屋（東から撮影）

一般文化財事業

一般文化財事業では、今年度も国庫補助事業をはじめとして多岐にわたる事業に取り組みました。以下、特に重点を置いた事業について紹介します。

【国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡（普門院本堂）保存修理事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は米沢藩を復興させた名君として知られる上杉治憲（鷹山）が師の細井平洲を郊迎した地として、昭和 10 年に国の史跡となりました。

今年度は普門院本堂工事の 5 年目で、木工事・屋根工事を中心に行っています。木工事では床組の復旧のほか、修理のため外していた床板・天井板を元に戻す作業を行っており、少しずつ内部の形が出来上がってきました。

今年度は学生向けの保存修理工事の現場説明会なども行い、公開や歴史学習の場の提供を行っています。



▲保存修理工事が進む普門院本堂

【上杉文書調査事業】

上杉文書は昭和 29 年に上杉家から米沢市に譲渡された約 1 万点に及ぶ膨大な史料群で、現在は米沢市上杉博物館の特別収蔵庫に収納されています。

今年度は 5 カ年計画の 3 年目で、史料調査や米沢市上杉博物館・市立米沢図書館文化財総合データベースで公開するための準備を行っています。

絵図は調査した全点の画像を公開するため、写真撮影しています。絵図の中には足場を組まなければ撮影できない大きなものもあるため、多くの人の協力を得ながら作業を進めています。これらの史料調査の様子や進捗状況は、上杉博物館の HP を通じて発信しています。



▲大型絵図の調査・撮影風景

【文化財の修理・調査】

上杉神社で所蔵している国重要文化財「服飾類」は上杉謙信・景勝が着用したものと伝わっており、昭和 36 年に国の重要文化財に指定されています。今年度は第一期 5 か年計画として令和元年度から開始した修理事業の最終年度で、ミリ単位の補修作業が続いています。修理が完了した暁には、上杉神社稽照殿にて展示が行われる予定です。

文化財候補の調査では、国登録文化財候補として小嶋総本店の調査を実施しており、11 月に国の文化審議会です新たに登録するよう答申がありました。また、市内文化財の概要把握のための調査や県とともに文化財のパトロールを実施しています。文化財調査の詳細は、特集ページで紹介しています。



▲旧米沢高等工業学校本館（山形大学工学部）での文化財パトロール

【米沢工業高等学校との活動】

昨年度に引き続き、山形県立米沢工業高等学校建設環境類の御協力をいただき、授業の一環として指定等の文化財建造物や史跡のドローン撮影を5箇所で行いました。普段見ることのできない高さ、角度での撮影によって文化財の現状を知ることができ、高校生にとっても市内の文化財を知ってもらうきっかけとなっています。撮影した画像はHP等で随時公開しているほか、文化財説明板などの広報資料として活用しています。

また、今年度は新たに成島八幡宮の図面作成についても御協力をいただきました。成島八幡宮は境内・建物とも広く、現地での実測・測量調査そして図面作成と長期にわたっての作業となりましたが、(株)ケンコン様の指導もあり、素晴らしい図面と調査報告書が完成しています。この報告書は成島八幡宮総代会・米沢市に寄贈されましたが、市としても報告書をもとに文化財の登録、指定につながるよう取り組んでいきます。



▲ドローンによる文化財撮影風景



▲成島八幡宮の実測調査風景

【^{すさやま}県指定無形民俗文化財梓山獅子踊】

万世町梓山地区に伝わる「梓山獅子踊」は、江戸時代から中断を挟みながらも受け継がれてきた伝統のある踊りで、平成4年に県の無形民俗文化財に指定されています。

定期公演は新型コロナウイルスの影響を受け中止されていましたが、今回4年ぶりに開催されました。上組の勇壮な踊り、下組の優雅な踊りと異なる特徴を持っており、道中の豪華さも特徴となっています。今回は演目を縮小しての公演でしたが、お盆の風物詩が戻ってきました。



▲梓山獅子踊下組の奉納披露

令和5年度は、シンポジウムやワークショップの開催などの状況も改善してきており、新しい生活様式の下で文化財保護行政が動き始めました。上記の他、継続事業として市指定史跡直江石堤の草刈・雑木除去や国・県指定文化財への管理補助事業、民俗文化財への支援などを実施しています。今後とも文化財保護へのご理解とご協力をよろしくお願いします。

埋蔵文化財事業

令和5年度の埋蔵文化財事業は、館山城跡の確認調査、戸塚山古墳群と台ノ上遺跡第16・17次調査の報告書作成を中心に実施しました。この他、館山城跡や戸塚山古墳群等の史跡案内、博物館への遺物の貸出や埋蔵文化財資料室の見学対応といった活用事業にも努めました。

以下、主な事業について紹介します。

【市内遺跡発掘調査事業】

埋蔵文化財に関する発掘届及び分布調査の依頼件数は、令和6年2月29日現在69件で、直近5年間では最も多い件数となりました。このうち試掘・確認調査を24件、現地踏査等を45件実施しており、埋蔵文化財の適切な保存に努めました。



▲上谷地 a 遺跡調査状況



▲大壇 A 遺跡調査状況



▲大壇 A 遺跡出土縄文土器



▲米沢城東二の丸跡調査状況



▲大平 c 遺跡工事立会状況



▲野際遺跡調査状況

【戸塚山古墳群・台ノ上遺跡の報告書作成】

戸塚山古墳群の報告書は、国の史跡指定を視野に平成20～28年度にかけて発掘調査や測量調査を実施した成果をまとめています。平成28年度を最後に諸般の事情で整備事業は休止となっていますが、県内で類例の少ない7世紀代の馬具が出土するなど、多くの知見が得られました。

台ノ上遺跡の報告書は、個人住宅建築工事に伴い令和3・4年度に実施した第16・17次調査の成果をまとめています。調査面積は広くありませんが、縄文時代中期の大木7a～8b型式期の遺構・遺物が多数発見されています。



▲戸塚山古墳群資料調査風景



▲台ノ上遺跡整理作業風景



▲台ノ上遺跡資料調査風景

【国指定史跡館山城跡の確認調査】

今年度は、山城の西側に位置する曲輪Ⅲ北西部の虎口周辺を調査しました。ここでは曲輪Ⅲ北～西側を隔する堀切が途切れ、土橋状の遺構が確認されます。調査の結果、土橋状遺構は旧表土と地山を削り出して構築しており、北側は高さ 0.9 ～ 1.2m の段となって敵の進入を防ぐ機能があったと考えられます。また、人為的に段を埋め戻した土層が確認され、曲輪Ⅰ西側の枿形虎口周辺と同様に破城（城を壊して使えなくすること）が行われた可能性があります。

この他、土塁の構築状況を確認したほか、中世期の内耳土鍋や近世前期の岸窯（福島市飯坂）系の火入の破片が出土しています。



▲調査前 堀切から土橋状遺構を望む



▲調査区全景（北西から）



▲土塁の調査状況（西から）



▲内耳土鍋出土状況（東から）



▲保存整備検討委員会風景



▲現場見学会風景

【埋蔵文化財の活用】

令和 5 年度は、山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館、寒河江市美術館へ遺物の貸出を行いました。うきたむ風土記の丘考古資料館で開催された「山形県内の指定文化財 - 考古資料 -」には、令和 5 年 3 月 29 日付けで市指定文化財となった「大南遺跡出土木製品類」などが展示されました。また、福島県立博物館で開催された「Go!Go!5 世紀 - 東北地方中・南部の古墳文化 -」には、昨年度作成した戸塚山 137 号墳に埋葬された女性の復元動画などが展示されました。復元動画は米沢市公式 Youtube チャンネルで公開していますので、下記 QR コードから御覧ください。

埋蔵文化財資料室では、米沢女子短期大学の授業や、一般の方々の見学対応、専門家による資料調査に協力しました。

今後も多くの方々に文化財を見ていただく機会を提供していきたいと考えています。



▲市指定文化財「大南遺跡出土木製品類」

▲戸塚山 137 号墳復元動画 QR コード

《第12回 文化財事業特集：文化財保存活用地域計画と文化財調査》

特集では、本年度から取り組んでいる文化財保存活用地域計画の策定と、文化財の調査について紹介します。

【文化財保存活用地域計画】

文化財とは何でしょうか。山形県が定めた文化財保存活用大綱において、文化財は地域の守っていくべき宝だとされています。文化財保存活用地域計画は、その宝を守っていくために、市町村が定める文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画です。

今まで文化財の保存・活用は、指定文化財を中心に個別に考えられてきましたが、地域の宝である文化財は指定文化財だけではなく、未指定文化財も合わせて一体化したものと捉えることが重要です。捉えたものから地域ごとに特徴を見だし、地域の特色ある文化財の活用と保存の実現を目指します。

【文化財の把握調査】

文化財を指定・未指定問わず一体化したものと捉えるためには、市内にどんな文化財があるか把握することが必要です。米沢市では今まで多くの文化財調査が行われているため、第一歩としてそれを一つにまとめる作業を行っています。

また、地域にある文化財には、市が把握していないものも数多く存在します。そのため今年度はコミュニティセンターへアンケート調査を実施し、文化財の把握に努めました。アンケートでは地域の寺院や商家、茅葺屋根の建物、石碑や遺跡、古木、民俗文化財などの回答をいただき、200件を超える文化財を把握することができました。今後は現地確認などを進め、未指定文化財のデータベースを作ることを目標としています。

さらに、市内には戦前に建てられた建造物が数多く存在しますが、どれだけの件数があるかは知られていません。聞き取り調査等を実施して把握を進めていくのが、今後の課題となっています。



▲さしせん佐氏泉公園 源義経の家臣である佐藤継信・忠信兄弟が産湯をつかったとの伝説があります。米沢で初めて公園に指定され、鉄道開通後は周辺に料亭ができるなど賑わいを見せました。

【ひがしてらまち東寺町調査】

市内には120を超える寺院があるとされています。今まで個別の調査などが何度か行われていますが、全体像は把握されていません。そのため現地を訪問し聞き取りを行うことにより、



▲キリハライ（農村文化研究所所蔵）正月飾りの一種で、家の壁に貼り来る年の幸福や五穀豊穡を願い御祓いするもの。12枚1組の「1年ハライ」と6枚1組の「半年ハライ」があります。

全体像の把握と米沢の祈りの特徴を見出すことを目指します。

今年度は東寺町で調査を実施しました。由緒だけでなく所有している文化財についても聞き取りを行い、文化財の把握を進めることができました。今後は北寺町調査等、市内全域の寺院調査を行う予定です。



▲にっちょうじ日朝寺山門 元は上越市にあり、上杉氏の移封に伴い米沢に移りました。真言宗から日蓮宗に改宗したと伝わります。写真の山門は大正の大火後に、メートル法で作られました。



▲けんちよう観音寺観音堂 建長年間（1249～1256）伊達義広によって創建、直江兼続によって現在地に移りました。真言宗醍醐派の祈祷寺院。観音堂は戦後まもなく作られ、本尊は聖観世音菩薩です。

【文化財の詳細調査】

東寺町調査では、りゅうせんじ どうぞう あ み だ さんぞんぞうちゆうぞん あ み だりゅうぞう龍泉寺の「銅造阿弥陀三尊像中尊阿弥陀立像」を拝見し、古いものである可能性があったため、専門家による詳細調査を依頼しました。調査の結果、後補は多いものの鎌倉時代末期の作と考えられ、県内でも善光寺式という形式で三尊揃っているのは貴重であるとの評価でした。今後、市の指定文化財となることを目指します。



▲龍泉寺 縁起については諸説あり、元は長野にあり上杉氏の移封に伴い米沢に移ったとも、長井時広の開基とも伝わります。浄土宗の寺院で、写真の本堂は伊東忠太の設計とされます。



▲仏像の調査風景 調査では、形状、技法、構造、像全体の大きさや体などの厚み、作成された後の時代に手が加えられた箇所があるかなどを調べ、年代などを考察します。

【今後の予定】

来年度は建造物の把握調査を進め、特に古いと思われる建造物について専門の先生による詳細調査を予定しています。また寺院の詳細調査についても範囲を拡大し実施していく予定です。

令和8年度に計画を作成すべく準備を進めており、今後、聞き取り調査やアンケート等を実施していく予定ですので、御協力をよろしくお願い致します。

令和5年度 米沢市文化財関係事業

区分	令和5年度の重点事項	令和5年度的主要事業内容
1. 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 ○文化財行政推進大会への参加 ○文化財の普及・教育 ○文化財保存活用地域計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・「米沢市文化財年報」No.36の発行 ・米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回R5.8.18 第2回R6.3.21月開催) ・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会(宮城県松島町R5.7.5~6)への参加・山形県史跡整備市町村協議会(金山町R5.6.29)は前日の大雨被害状況確認のため欠席 ・埋蔵文化財資料室、史跡等の見学対応、出前講座の実施 ・文化財保存活用地域計画策定作業(未指定文化財の調査、現状把握、コミュニティセンターへのアンケート実施)
2. 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査 ○文化財の保存・活用 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民俗文化財後継者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財及び指定等文化財候補の調査(成島八幡宮ほか) ・保存修理にむけた事前調査(旧米沢高等工業学校本館・洛中洛外図屏風) ・米沢工業高等学校との文化財建造物・史跡等ドローン撮影(小嶋総本店・芳泉町の街並みほか) ・法泉寺庭園内聖堂(先聖殿)の実測図作成 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」(普門院本堂)保存修理事業(16年目、本堂工事の5年目) ・国指定文化財「服飾類(上杉謙信、景勝所用)」ほか保存修理事業(5か年事業の5年目) ・上杉文書調査事業(5か年事業の3年目) ・塩井神社のエノキ2世植樹 ・国指定文化財「行屋」の管理 ・国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護 ・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」の保護調査 ・文化財防火デー(実施場所未定) ・未来に伝える山形の宝事業への協力(芳泉町・笹野・万世地区) ・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡(普門院・羽黒神社)」及び同「米沢藩主上杉家墓所」管理に係る補助 ・県指定史跡「林泉寺米沢藩上杉家及び家臣団墓所」、県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」、県指定建造物「笹野観音堂」の管理に係る補助 ・国指定史跡「一ノ坂遺跡」、市指定史跡「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防(直江石堤)」等の環境整備(草刈・雑木除去等の実施) ・県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助
3. 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集及び周知 ○報告書の作成 ○埋蔵文化財の保存・活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定史跡「館山城跡」の範囲・内容確認調査 ・開発事業に伴う事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における確認調査、分布調査 ・米沢市埋蔵文化財調査報告書第125~127集の刊行(台ノ上遺跡第16・17次、戸塚山古墳群、市内遺跡) ・埋蔵文化財資料室・埋蔵文化財南原資料室の維持管理

発行 米沢市教育委員会 教育管理課 社会教育文化課文化財担当
〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号
TEL: 0238-22-5111 (内線7530、7531)
FAX: 0238-21-6020
E-mail: bunkazai-t@city.yonezawa.yamagata.jp